第5・6学年 算数科学習指導案

日時 11月26日(火) 第5校時
場所 5・6年教室

1 単元名 5年「式と計算」(全6時間)

2 目 標

式の扱いに関心をもち、計算法則を活用して計算を工夫しようとする
計算法則を活用して計算を工夫したり、式の表す意味を具体的に即している
いろいろな読みとったりすることができる。
計算のきまりを用いて計算処理ができる。
小数を含めた計算法則をまとめて理解できる。

3 指導の立場

整数に関する交換、結合、分配法則などの既習のことを小数に広げても
成り立つことを理解させ、式の形に着目し、数量や数量の関係を読みとら
せたい。

特に数の求め方を表す式を利用して、計算のきまりに関連づけた式のよ
み方や求積公式を利用した式を読むこと。また、式のよみを使って数量の
求め方を発展的にとらえるなど、単に式を考えるのではなく、式の意味を読
みとることを大切にしたい。

4 テーマと関わって **自ら学ぶ力を育てるための学習活動の在り方**

まず、教材教具の工夫により、じっくり考えさせることを大切にしたい。
学習リーダーを中心に答え合わせ等の基本を身に付けさせ、自分たちで学
習を進める形を繰り返し身に付けさせたい。

1 単元名 6年「問題の考え方」での発展的な学習(全1時間)

「江戸時代の算数にチャレンジしよう」

2 目 標

数に対する感覚を豊かにするとともに、試行錯誤を通して粘り強く問題
を解決する。

3 指導の立場

6年生は理解力があるため、学習進度が速い。そこで、発展的な学習と
してこれまで学習してきた整数の性質を基に江戸時代の算術書「塵劫記」
にある「油分け算」の問題を取り扱うことで、試行錯誤を通し粘り強く考
える態度を養うだけでなく、多くの人が江戸時代から算数の問題を考
えてきていたことを知り、算数に対する興味・関心を高めさせたい。

4 テーマと関わって **自ら学ぶ力を育てるための学習活動の在り方**

学習リーダーを中心に3人の考え方をいかに交流し、考え方を深めてい
くかを本時大切にしたい。

単に自分だけ理解できたと言うのではなく、仲間に説明することも通して
より確かなものにさせたい。